



# エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成30年6月10日（第72号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

## 平成30年度総会を開催します

6月17日（日）午後2時

宇治田原町総合文化センター研修室1

エコパートナーシップうじたわらは、住民・事業者・行政が協働で「宇治田原町環境保全計画」を推進するため、平成16年に設立された団体です。3つの部会が環境学習やエコクッキング、会報誌の発行などの活動を行っています。

このたび総会を開催し、昨年度の活動報告や今年度の事業計画について審議し、講師をお迎えしての講演会を開催します。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

参加者には記念品として素敵な茶ッピーグッズを贈呈します。

- ・ 基調講演：テーマ「地球温暖化対策と豊かな暮らし」
- ・ 講師：川手光春氏（京都府地球温暖化防止活動推進センター 事務局次長）



1997年、東京農工大学農学部環境・資源学科卒業。

青年環境ネットワークでCOP3のキャンペーン等に従事。

2000年、東京都板橋区立の環境学習施設で環境学習指導員として勤務。

2003年、都内の民間会社にてISO14001取得支援やエコロジーショップ運営補助などに従事しながら、神奈川県の里山で里山保全や廃校を利用した宿泊体験施設の運営に協力。

2008年、京都に居を移し、京都府地球温暖化防止活動推進センター職員として勤務。現在に至る。

現在は、「うちエコ診断」・「京都府 HEMS の補助窓口」などの主に家庭の省エネを進める事業を担当している。

## 平和堂財団「夏原グラント」から助成を受ける

エコパートナーでは、28年度から町内の野生生物や地質などの調査を行い、今後の生物多様性保全のための基礎資料作りに取り組む活動に対して、公益財団法人平和堂財団が創設した「夏原グラント」から助成金の交付を受けています。

「夏原グラント」とは、滋賀県内及び京都府内で活動する学生団体や住民団体が実施する環境保全活動に対する助成金で、エコパートナーは今年25万円の助成金を交付されることになり、4月14日に行われた助成金の贈呈式で平和堂財団の夏原平和理事長から目録を受け取りました。

今年度は調査活動を実施しながら事業内容のまとめ冊子を作成する予定です。

（写真は助成金贈呈式にて、芦原会長（左）、夏原理事長（中央）、阪本副会長（右））



この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて実施しています

# エコカーに乗り換えて思ったこと

私事ではあるが、今年4月から自動車をハイブリッド車に買い替えた。それまではガソリン車の四輪駆動車であったため、燃費は10km/ℓもなかった。その車に約12年間乗って充分元が取れたと思うので、次は燃費のいい車が欲しかった。これまでガソリン代が200円/ℓに迫るほど高騰した時期もあったため、温室効果ガス排出抑制もさることながら、燃料費をできるだけ安くしたいというのが最大の動機だった。

新しいハイブリッドカーは前の車よりも車体が小さく軽くなった。下り坂や巡行時はエンジンがストップしてモーターの力で走行し、アクセルから足を離れたときや、ブレーキを踏んだときに発電して充電してくれる。モニターには発進・安定走行・停止が100点満点で評価され、エコドライブができているか知ることができる。また、走行を終えたときは発進から停止までの燃費と消費したおよその燃料費が表示される。さらに、これまでのトータルでの平均燃費もわかるようになっている。そうした表示があることで、できるだけガソリンを使わず走行することを心掛けるようになってくる。

今後世界的には電気自動車が主流になっていくようで、ハイブリッドはエコカーとしてはすでに時代遅れという意見もあるが、ガソリンを使わない電気自動車も、充電する電気を火力で発電していると結果的に温室効果ガスを出し続けることになる。ハイブリッドはガソリンがなければ動かないが、モーターを動かす電気は自分で作るうえ、その電気で行けばできるだけガソリンを使わずに済む。実際、現在の平均燃費は27km/ℓと以前の倍以上。

エコカーに乗り換えたことで、燃料費が安く済んでいることはありがたいが、なによりも、これまで以上にエコドライブを意識して行うようになったことが最も大きな効果だったのではないかと。(事務局担当:波部)

## エコパートナーシップうじたわらの会員募集

エコパートナーシップうじたわらでは、いっしょに活動する会員を募集しています。

肩ひじ張らず、気軽に、自分のできる範囲で参加するのがエコパートナーの特徴です。関心のある方は役員や会員、事務局までお気軽にお申し出ください。

### ◆会員の区分

- ・個人会員＝町内にお住まいか、町内の事業所にお勤めで環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

### ◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

### ◆入会の方法

- ・入会申込書(町HPエコパートナーのコーナー)に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

### ◆部会

- ・広報部会・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・河川や動植物の学習会、自然環境体験ハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等、エコクッキング教室等

## エコパートナーシップうじたわら賛助会員

濱田プレス工業株式会社、宇治田原工業団地管理組合、環境サービス株式会社、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町区長会、京都やましろ農業協同組合宇治田原町支店、宇治田原町森林組合、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、有限会社富山資源開発、宇治田原町商工会、宇治田原新聞サービス本舗株式会社、米田造園土木株式会社、宇治田原町 (敬称略・順不同)

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設事業部建設環境課内)  
〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: [junkan@town.ujitawara.lg.jp](mailto:junkan@town.ujitawara.lg.jp)

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」  
エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原